主な事業を紹介

≪拡充≫
りんご産業イノベーション推進事業
予算額 **4,543万3,000円**

りんご生産を将来に向けて維持・成長させていくための土台づくりとして、先端技術を活用した高効率化および高品質化に向けた研究、人材育成、新たな取り組みに対する支援等を実施します。

【拡充内容】県外からの新規就農研修希望者を市域全体で受け入れる体制づくりにつなげるため、希望者の受け入れの実践や調査、研究を実施

≪拡充≫
各種融資制度の実施
予算額 **13億9,332万3,000円**

当市中小企業者の経営の安定化と事業の活性化に資するため、各種融資制度を実施するとともに、一部融資制度では利用者の負担を減らすため、信用保証料の補助等を併せて実施します。

【拡充内容】未来を変える挑戦資金特別保証融資制度における創業枠および小規模事業者経営改善資金融資制度に係る利子補給補助を新たに実施

≪新規≫
ミニトマト生産振興事業
予算額 **174万円**

ミニトマトの生産振興を図り、産地形成を推進することを目的に、パイプハウスの整備に要する経費に対し補助します。

≪拡充≫
弘前市町会連合会運営費補助金交付事業
予算額 **1,321万9,000円**

市の協力団体として各町会の支援活動を行っている弘前市町会連合会の運営に要する経費に対し補助します。

【拡充内容】町会連合会および町会と市がさらに連携を強化し、協働により地域コミュニティの維持・活性化に取り組んでいくため補助単価を増額

≪新規≫
有害鳥獣総合緊急対策事業
予算額 **131万円**

近年出没が急増しているツキノワグマから人命を守るとともに、農作物被害を防止するため、クマ出没傾向の情報をもとに、ハンターの出動強化、箱わなの充実、注意喚起看板の設置などの緊急対策を実施します。

≪新規≫
市民号派遣事業
予算額 **320万円**

北海道斜里町との友好都市の盟約締結に至った歴史を学ぶとともに、さらなる交流を深めることを目的に、弘前市民号の派遣および斜里町民号の受け入れを実施します。

≪拡充≫
創業・起業支援拠点運営事業
予算額 **770万7,000円**

創業・起業支援拠点としてひろさきビジネス支援センターを設置・運営し、専門家による創業・起業に係る個別相談対応、各種セミナーの開催をとおして創業希望者等を支援します。

【拡充内容】週1回の夜間延長と月1回の休日開設を実施

≪拡充≫
生活環境保全整備事業
予算額 **6,000万円**

市民が住みやすく、快適な生活環境へ早期に改善するために、生活道路等の補修を実施します。

【拡充内容】生活道路等の補修を早期に実施するため、予算を増額して対応

弘前の教育が変わります！

4月から、市立小・中学校では、「小中一貫教育」、「コミュニティ・スクール」がスタートします。

■**問い合わせ先**　学校づくり推進課（☎82・1645）

※新学習指導要領に基づく教育内容の変更もあります。詳しくは、19ページ「小・中学校の授業が変わります」を参照。

～小・中学校9年間を通した連続性のある教育を行います～

小中一貫教育

各中学校区で**目指す子ども像「15歳の姿」を設定**

小学校						中学校		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年

◆各中学校区で**授業づくり・集団づくり**を共有します
◆郷土弘前を学ぶ、**「ひろさき卍（まんじ）学」**に取り組みます
◆「運動」をテーマに、子どもたちの**健康教育**を進めます

小学校での中学校の先生による乗り入れ授業

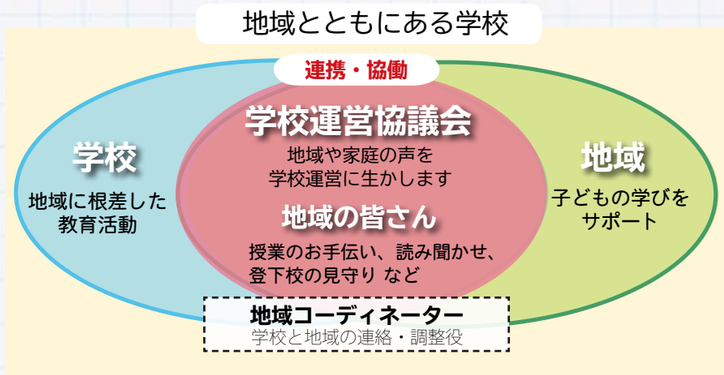
ひろさき卍学図書コーナー（学校図書室）

小学校と中学校の円滑な接続を目指した授業

～地域とともにある学校づくりを進めます～

コミュニティ・スクール

学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、一緒になって子どもたちの豊かな学びの環境をつくっていきます。



※「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール」といいます。
平成30年度は市立小・中学校28校がコミュニティ・スクールを開始します。

学校・家庭・地域が一緒になって行った学校の桜保存活動

学校図書室での図書整理ボランティア

弘前市では、郷土を誇りに夢を育む「教育自立圏」の構築を進めていきます。
●「教育自立圏」とは？…子どもの健やかな成長に向かって、小・中学校、家庭、地域が力を合わせて9年間の学びと育ちを支える中学校区のことをいいます。

教育自立圏特設サイトもご覧ください
http://www.city.hirosaki.aomori.jp/kyouiku-jiritsu/index.html